

事業所名		おれんじキッズ&児童デイサービスアニマトうるま安慶名				公表日	令和8年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点		
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	0	5	活動内容に合わせ、机・パーテーションを移動している。	収納スペースを工夫したり、仮倉庫などを検討しスペースを確保する。転居等も考える。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	4	1		退職時の事を考え、プラスアルファでの採用を心掛けたい。	
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3	2	机やロッカーに児童の名前を貼り、指定している。	個別活動の際、カーテンで仕切る工夫をしているが、近づくのぞく児童もいる為今後札を作り視覚的にわかりやすく提示をする。利用児童の人数で考えと適切範囲と見ながら、広さがもう少しほしい。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	4	1	毎日の清掃を行っている。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	5	0	個室が無いが、パーテーションやカーテンを活用し、個室に近いスペースを作っている。	スペースを確保しているがカーテンでの仕切りの為他児の声などが入る。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	5	0	朝礼や、終礼、職員会議などで業務改善について話す機会を設けている。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	調査結果を元に職員間で会議をし、保護者の意見や要望に沿った療育を目指している。	事業所独自の評価表なども作り意見を聞ける機会を増やしたい。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	5	0	毎月の職員会議で意見交換や支援方法を話し合うことが出来る		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	0	5	本社や同法人とは連携をとり、外部評価を受けている。	他事業所との交流を増やしていきたい。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	5	0	毎月職員会議を設けている。	外部の研修参加が送迎都合などで難しい事が多い。外部研修を増やして生きた。	
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	5	0	作成し、公表している。		
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	5	0	半年に1度アセスメントを行っている。		
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	5	0	個別支援会議を設け、職員全体での共通理解や、意見を述べる場を設けている。		
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	5	0	会議を用いて共有している。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	5	0	毎日の様子を連絡帳裏に記載している。専門的実施については別紙に詳細を記録している。	電子化していきたい。	
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	5	0	子どもの年齢、成長と共に内容を見直し、本人支援、家族支援、移行支援、地域支援・連携を記載している。		
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	5	0	指導員間で会議を設け、中旬ごろに翌月の活動プログラムを作成している。		
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	5	0	SNSなどを活用し、新たな活動案をだせるように工夫している。活動予定表を5領域で色分けし、偏りがないか一目でわかるように工夫している。		
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	5	0	個別活動では、専門的支援を用いている。集団活動では小学生～高校生の幅になるが、全員が楽しめるような活動を計画している。		
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	4	1	活動予定表を基に、ホワイトボードに活動や、流れを記載している。	細かい役割分担ができていない時があるため、今後改善したい	

	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	5	0	毎日引継ぎの時間があるため自分が送迎で見えない時間の児童の様子も把握することができている。就業時間で終えない場合は翌朝にミーティングをし、情報共有をしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	5	0	自分が気付かなかった児童の様子を知ることができ、またその際にどのような対応をしたのかも把握することができている。	
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	5	0	半年に1度のモニタリングを行い、計画書の見直しをしている。	保護者との面談機会を増やし、情報共有や家庭での困り感を聞く機会を増やしたい。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか。	5	0	基本活動を意識した支援・活動を行っている。	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	5	0	選択肢を設けたり、代替案を考える練習をする支援を行っている。	職員側の選択肢の幅が増やせるように努めたい。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	5	0	事業所側から積極的に連絡を取るようになっている。	連絡がつかない場合があるため、連携がとりづらいことがある。
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	0	地域の施設を利用した活動行事を行っている。	医療機関とのつながりが浅いため、今後改善したい。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	5	0	スクリレや年間行事を確認。また、学校と直接連絡を取っている。	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	1	4		未就学児や低学年の児童が現在いない為、連携をとっていない。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	0	5	現在該当児童がいらないが、今後の事を考え就労支援等に向き、情報や知識を増やしたい。	該当児童なし。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	1	4		外部との関りが浅いため、今後積極的に取り組みたい。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	1	4	系列事業所との交流会を通し、児童たちの社会性を伸ばすことに繋がっていると感じる。事業所外の子供に関してはケガを負う、させる等の可能性を懸念し、交流を控えている。	
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	0	5		行っていない為、今後検討する。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	5	0	送迎時に情報共有を行い、必要に応じて面談を設けている。	
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	2	3		外部で行っている研修の情報が足りず保護者への照会が出来ていない為、今後取り組みたい。
保護者への説明等	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	5	0	契約時に説明を行っている。	
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	5	0	アセスメントを取り、保護者や子供の意思を確認している。	汲み取れていないところもまだまだあると考えている。今後も意思を確認する機会を増やしていきたい。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	5	0	行っている。	
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	5	0	送迎時のお話や面談を設けている。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	4	1	保護者会を年に1度。学芸会や運動会などで保護者を招待した行事を組んでいる。	保護者参加の機会を増やした活動を取り入れたい。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	5	0	迅速に対応できるように現場の職員と管理者との連携を図っている。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	5	0	SNSの活用なし（安全性を考慮）	SNSの利便性を活用し、マニュアルや誓約書を作成し、今後活用していきたい。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	5	0	契約時に説明を行っている。	

	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	5	0	子どもたちの日々の様子について、日々のミーティングで共有している。意見交換をし、個々に合った意思疎通ができるように支援を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	0	5	安全面を考慮し地域住民を招待していない。	職員で会議をし、安全性が確保され次第取り組みたい。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	5	0	各種マニュアルの作成、掲示を行っている。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	5	0	年に4回（地震・火災・水害・不審者）訓練を行っている。	地域住民の参加や、地域での避難訓練に参加していきたい。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	5	0	保護者との情報共有を定期的に行っている。	研修にてんかん発作時の対応を増やしたい。
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3	2	アレルギーのある児童に配慮として対象児童のいない日に誕生日ケーキ（卵使用）を提供したり、卵なしのおやつで代用をしている。保護者から提示された情報に沿って対応している。	医師の指示所をもらえていない世帯が多いため、即座に対応する。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	4	1	事業所の安全確認をミーティング等で確認している。	玄関ドアの構造上、安全対策が必要と為、ドアチェーンなどを検討したい。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	4	1		安全計画の説明について父母会（年に1度）で行っているが、半年に1度に変更したい。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	4	1	ミーティングでの共有を行っている。	勤務時間によっては中々参加できない場合もあるため、時間帯を固有化せず対応したい。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	5	0	虐待防止研修を事業所内で行っている。	外部研修を増やしていきたい。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	2	3	児童の特性を加味した上でこのような場合にはどうするのか職員間で話し合いを設けた。		